

氏名	植野 正之	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	口腔衛生学、予防歯科学、国際歯科学、公衆衛生学、行動科学				
学位	修士（公衆衛生学）、博士（歯学）				
学歴	東京医科歯科大学大学院歯学研究科予防歯科 博士課程 カリフォルニア大学バークレー校大学院公衆衛生学部行動科学科 修士課程				
経歴	2008年～2010年 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 助教 2010年～2018年 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 准教授 2018年～現在 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科 教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本口腔衛生学会、口腔病学会、IADR、日本歯科衛生教育学会、日本歯科衛生学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	歯科保健行動変容のための実現可能なモデル	共著	なし	クインテッセンス出版 220ページ		安細敏弘、 <u>植野正之</u>	2024.2
2	心とからだの健康：養護教諭なんでも相談室 - 新型コロナウイルス感染症の歯・口の健康に及ぼす影響 -	単著	あり	建学社 78ページ		<u>植野正之</u>	2023.6
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	シンポジウム BCWを用いた歯科保健行動変容アプローチ	共同	第72回日本口腔衛生学会・総会、大阪		○ <u>植野正之</u>		2023.5
2	知的障がいのある成人の歯科保健状況	共同	第72回日本口腔衛生学会・総会、大阪		○中山真理、矢作真依、 <u>植野正之</u>		2023.5
3	歯科衛生士の多職種間実践および認識に関わる要因の検討	共同	日本歯科衛生学会 第18回学術大会、静岡		○戸田花奈子、鶴田潤、 <u>植野正之</u> 、品田佳世子		2023.9
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	口腔保健情報管理学	○	8	う蝕や歯周病に関する指標、疫学・統計学的手法、データの収集・スクリーニング、日本と世界の統計調査について実例を交えて解説を行った。			
2	衛生行政	○	8	歯科衛生士と法規、医療関係職種とその法規、社会保障制度・社会保険、社会福祉・公的扶助について分かりやすく解説した。			

3	基本統計学	○	15	統計学の基本的概念、研究のプロセス、変数の測定レベル、母集団と標本、パラメータの推定、帰無仮説有意性検定、ベイズ統計、グラフなどのデータの視覚的表現法、各種確率分布、バイアスについて演習を交えて指導を行った。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	口腔衛生学Ⅰ	○	15	口腔衛生学の意義、歯・口腔の正常像と機能、歯・口腔の異常、口腔内の不潔物、う蝕の発病および予防法、フッ化物の応用について具体例を示しながら分かりやすく解説した。	
2	口腔衛生学Ⅱ	○	15	歯周疾患、不正咬合、口内炎、顎関節症、舌痛症、口腔がん、口腔乾燥症の発病機構および予防法、地域保健について具体例を示しながら分かりやすく解説した。	
3	齲蝕予防処置論	○	30	小窩裂溝充填塞法などの効果的なう蝕予防法および各種フッ化物応用法について実習を交えて指導を行った。	
4	口腔機能管理論		2	海外における歯科保健状況の最新トピックと歯科衛生士免許制度について解説した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	IPW実習		2023.9～2023.10	教員ファシリテーターとして、施設ファシリテーターと連携を取りながら、チームの学生の実習前後および実習中において必要な指導と相談を行った。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2023.4～2024.1	主指導	7名	副指導 0名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	アドバイザーグループミーティング	2023.4～2024.3	学年間交流のアドバイザーとして学生13人に対し助言を行った。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	食育セミナー	東京都調布市保健センター	味覚について学びましょう		2023.7
2	食育通信教育	三鷹市健康福祉部健康推進課	味覚の不思議について		2023.8
3	健康づくりと口腔保健	調布市民健康づくり始める会	お口の健康を保つために		2023.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	日本口腔衛生学会	学術委員会副委員長・査読委員		2023.4～現在	
2	日本歯科衛生教育学会	査読委員		2023.4～現在	
3	口腔病学会	評議員・査読委員・会計監査員		2023.4～現在	
4	埼玉県歯科口腔保健推進委員会	副委員長		2023.2～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				

(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会	
2	全学的委員会及びセンター業務等	個人情報管理者	
3	大学広報活動	オープンキャンパス (2回)	
4	大学広報活動	リアル体験教室 (1回)	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		